エコアクション21

環境経営レポート

2024年度　　第67期

（運用期間２０２４年3月１日～２０２５年2月２８日）

［目　次］　　［頁］

Ⅰ．	組織の概要	1
Ⅱ．	環境経営方針	2
Ⅲ．	実施体制	3
Ⅳ．	環境経営目標	4
Ⅴ．	環境経営計画	5
Ⅵ．	環境経営目標の実績･取組結果並びに次年度の環境経営目標	6
Ⅶ．	環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画	7
Ⅷ．	当社の取組	8
Ⅸ．	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	9
Ⅹ．	緊急事態への対応	10
Ⅺ．	代表による全体の評価と見直し･指示	12

発行日　：　2025年　5月　20日

芦沢薬品 株式会社

Ⅰ　組織の概要

1　事業者名及び代表者名

芹沢薬品　株式会社
代表取締役社長　　芹沢俊夫

2　所在地

名称	所在地	延べ床面積	備考
本社	静岡県沼津市吉田町28番24号	583.33㎡	今回の認証対象
東京営業所	東京都千代田区内神田3-3-12　第2斎藤ビル2階	53.80㎡	今回の認証対象
小諏訪事業所	静岡県沼津市小諏訪字正改5-2	2788.23㎡	今回の認証対象外
西島事業所	静岡県沼津市西島町3-21	172.85㎡	今回の認証対象外
比奈事業所	静岡県富士市比奈315-4	59.62㎡	今回の認証対象外

3　環境管理責任者、事務担当者の氏名及び連絡先

環境管理責任者　　大川裕美子　　TEL　055-931-2147
事務担当者　　大川 裕美子　　E-mail okawa@seriyaku.co.jp

4　事業の概要

・工業用薬品の販売
・産業廃棄物収集運搬業（小諏訪事業所にて実施しているが今回は対象外）
・製造業（小諏訪、西島、比奈事業所にて実施しているが今回は対象外）

5　事業規模

2025年3月1日現在

項目	内　　容
売上高	3058百万円
従業員数	全社　　50名 （内訳：本社 17名、東京営業所 3名、小諏訪事業所 20名、西島事業所 5名、比奈事業所 5名）

6　事業年度　　毎年3月1日～翌年2月28日

7　レポートの運用期間及び発行日

環境経営レポートの運用期間（2024年3月1日～2025年2月28日）
環境経営レポートの発行日（2025年5月20日）

8　対象範囲

活動：化学工業薬品・材料の販売
対象組織：本社及び東京営業所
※ 対象外の小諏訪事業所、西島事業所、比奈事業所については
　2026年7月取得予定。

Ⅱ　環境経営方針

【　環境理念　】

当社は霊峰富士と駿河湾を臨む静岡県の東部に位置し、創業より多くのお客様のニーズにお応えしてきました。これからも主たる事業である化学製品の販売を通じて組織の目的や役割を明確にし、自然環境と健康に配慮した豊かな社会の実現に貢献します。さらに全てのステークホルダーから信頼されるよう、持続的継続的な改善をしていきます。

【　基本方針　】

当社は環境理念に基づき、以下の基本方針を定め、継続的な環境経営を展開していきます。

１．法規制等の遵守
環境関連の法規制等の要求事項を遵守します。

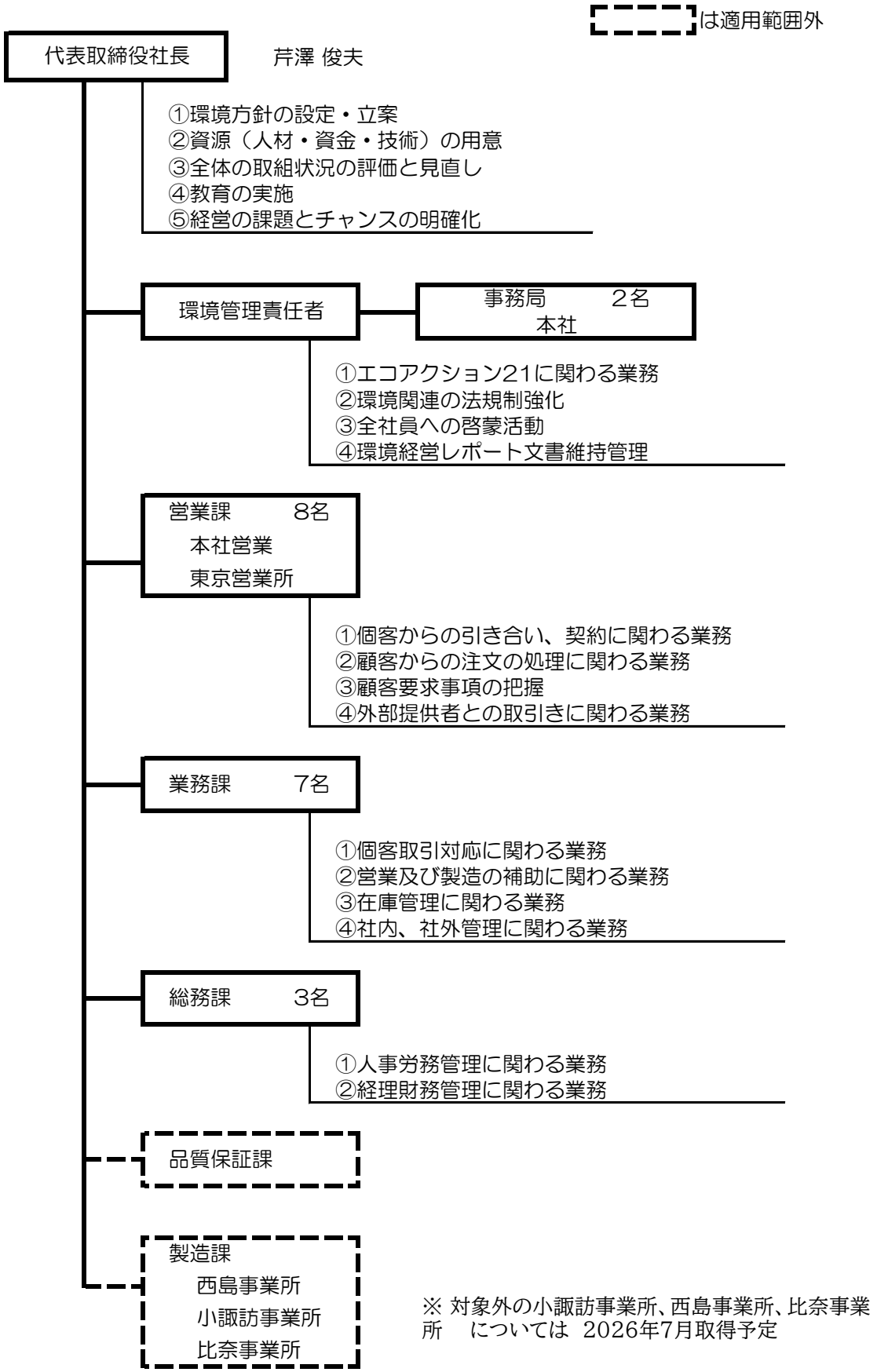
２．環境影響の低減と環境への取組の強化
二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量等の削減
1）電気、ガソリン等の使用量削減
2）3R活動の展開による廃棄物の削減
3）節水活動による水使用量の削減
4）使用物品のグリーン購入の推進
5）5S活動の展開

３．全社員の啓蒙活動
全社員及び当社のために働くすべての人々に環境方針を周知します。

４．環境方針、環境経営レポートの公開
社外に環境経営レポートを公開し、ステークホルダーのみならず社会とのより良いコミニュケーションを図ります。

制定年月日　　2024年　4月　3日（初版）
改定年月日　　2024年　7月　1日
芹沢薬品 株式会社
代表取締役社長　　芹澤 俊夫

Ⅲ　実施体制



※ 対象外の小諏訪事業所、西島事業所、比奈事業所　については　2026年7月取得予定

Ⅳ 環境経営目標とその実績

1. 基準期間(2023年3月～2024年2月)及び運用期間(2024年3月～2025年2月)

項目	単位	基準期間	運用期間	
		2023年3月 ～ 2024年2月	2024年3月 ～ 2025年2月	2024年3月 ～ 2025年2月
		基準値	目標値	実績値
削減率	%	―	-1.0%	
二酸化炭素排出量	kg－CO2	22,249	22,027	24,236
電力使用量	kWh	17,975	17,795	17,350
ガソリン使用量	ℓ	7,232	7,160	8,787
一般廃棄物排出量	kg	343.5	340.1	315.5
水使用量	㎥	91	90	100
環境対応商品の販売促進		活動計画の実施	活動計画の実施	活動計画の実施

〈備考〉

※. グリーン購入については主要品目はほぼ該当するため、活動のみとします。

※. 購入電力の排出係数はｺｽﾓｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ 2022年度実績0.189(kg－CO2/kWh)と
東京営業所分の東京電力 2022年度実績0.390(kg－CO2/kWh)を使用した。

2 中長期の環境目標

年度 / 項目	単位	基準年度	目標年度		
		2023年度	2025年度	2026年度	2027年度
		2023年3月 ～ 2024年2月	2025年3月 ～ 2026年2月	2026年3月 ～ 2027年2月	2028年3月 ～ 2027年2月
削減率	%		-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量	kg－CO2	22,249	21,804	21,582	21,359
電力使用量	kWh	17,975	17,616	17,436	17,256
ガソリン使用量	ℓ	7,232	7,087	7,015	6,943
一般廃棄物排出量	kg	343.5	336.6	333.2	329.8
水使用量	㎥	91	89	88	87
環境対応商品の販売促進		活動計画の実施	活動計画の実施	活動計画の実施	活動計画の実施

Ⅴ　環境経営計画

（運用期間：2024年3月～2025年2月）

環境活動項目			実施責任者	スケジュール											
				3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ　運転管理等	A　不要なアイドリングの禁止	営業総務												
		B　不要な荷物を積まない													
		C　急発進・急加速の禁止													
		D　効率的な集配ルートの選定													
		A　運転日報の記載・燃費確認（走行距離、給油量等）													
		B　低冷房運転の励行													
		C　自動車購入時は省エネ車に切り替え													
	空調等	A　エアコンの設定温度管理	全社												
		B　クールビズ、ウォームビズの実施													
		C　空調フィルターの定期清掃（夏前、冬前）													
		D　カーテンにより熱の出入りを調節													
	事務所	A　高効率照明（LED）を採用している	総務												
		B　天井照明の間引き													
		C　未使用設備の電源OFF													
		D　5S活動の実施													
廃棄物の削減		A　コピー用紙の両面使用	営業総務業務												
		B　雑紙の収集													
		C　封筒などの再利用													
水使用量の削減		A　水漏れ点検の実施	全社												
		B　手洗い、洗い物において節水に努める													
グリーン購入		A　グリーン商品の把握	総務業務												
		B　グリーン商品の購入													
環境対応商品の販売促進		A　環境対応商品の情報収集	営業業務												
		B　顧客への提案													

・化石燃料では都市ガスも利用していましたが、使用量が殆どなく、令和6年3月末（今期初月）で契約を解除しました。

Ⅵ 環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

①運用期間（2024年3月～2025年2月）の環境目標の実績と結果

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2023年3月 ～ 2024年2月	2024年3月 ～ 2025年2月				
			基準値	目標 削減率	目標値	実績値	目標に対する 実績の削減率	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	22,249	-1.00%	22,027	24,236	10.03%	×
内訳	電力	kWh	17,975	-1.00%	17,795	17,350	-2.47%	○
	ガソリン	L	7,232	-1.00%	7,160	8,787	22.72%	×
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	343.5	-1.00%	340.1	315.5	-7.23%	○
水使用量		㎥	91	-1.00%	90	100	11.11	×
環境対応商品の販売促進		%	活動計画の 実施		活動計画の 実施	活動計画の 実施		

〈備考〉

１． 実績削減率＝[（実績値ー目標値）/目標値]×100
２． 評価 ： ○（達成） ×（未達成）

＜評価＞

二酸化炭素排出量	×	原因	仕事の拡大に伴い、ガソリンの使用量が増えた。
		是正	個々に使用量を把握してもらい、効率的な走行を促す。
電力	○	原因	電力使用量、CO2排出量ともにほんの少し下回った。努力の成果とは言えない。
ガソリン	×	原因	合併によりガソリン車が増えたこと、また新入社員の行動範囲が広がったため。
		是正	エコドライブの徹底、ルートの検討を図る。
廃棄物排出量 一般廃棄物	○	原因	可燃ごみが減り、雑紙としての排出量が増加してしまったが、分別は徐々に浸透している。
水使用量	×	原因	合併により人数及び来客も増加した。
		是正	節水に努める。

②次年度の環境経営目標　　変更なし。そのまま継続する。

Ⅶ環境経営計画の取組結果とその評価、および次年度の環境活動項目

（運用期間　2024年3月～2025年2月）

環境活動項目			責任者	評価	コメント	次年度の取り組み内容
二酸化炭素の削減	エコ・ドライブ　運転管理等	A　不要なアイドリングの禁止	営業 総務	○	・各自のエコドライブは浸透していると思われるが、ガソリンの使用量が多い。 ・ECOドライブカードの配布によりCO2減量を実感できるようにした。 ・運転日報、燃費確認を徹底したい。	継続実施
		B　不要な荷物を積まない		○		継続実施
		C　急発進・急加速の禁止		○		継続実施
		D　効率的な集配ルートの選定		○		継続実施
		A　運転日報の記載・燃費確認（走行距離、給油量等）		―		継続実施
		B　低冷房運転の励行		○		継続実施
		C　自動車購入時は省エネ車に切り替え		○		継続実施
	空調等	A　エアコンの設定温度管理	総務	×	・エアコンの設定温度を夏28℃、冬21℃と決めたが、守られなかった。今後、必要に応じて予備器具を使用して温度調節する。	継続実施
		B　クールビズ、ウォームビズの実施		○	・実行できた	継続実施
		C　空調フィルターの定期清掃（夏前、冬前）		○		継続実施
		D　カーテンにより熱の出入りを調節		△	・カーテンは光を遮ってはいるが、断熱効果は低い	継続実施
	事務所	A　高効率照明（LED）を採用している	総務	○	・新築時よりLED照明を採用している	継続実施
		B　天井照明の間引き		△	・天井照明の間引きは行われていない	継続実施
		C　未使用設備の電源OFF		○	・実行されている	継続実施
		D　5S活動の実施		△	・徹底したい	継続実施
廃棄物の削減		A　コピー用紙の両面使用	総務	○	・コピー用紙の両面使用は全員が行っている	継続実施
		B　雑紙の収集		○	・DMが多く、雑紙が増量	継続実施
		C　封筒などの再利用		○	・封筒に貼られている切手を収集している	継続実施
水使用量の削減		A　水漏れ点検の実施	総務	○	・水漏れ点検は清掃時に必ず行っている。	継続実施
		B　手洗い、洗い物において節水に努める		△	・散水、洗濯機の使用回数を減らす	継続実施
グリーン購入		A　グリーン商品の把握	総務 業務	○	・新規購入品目はすべてグリーン商品とする。	継続実施
		B　グリーン商品の購入		○		
環境対応商品の販売促進		A　環境対応商品の情報収集	全社	○	・顧客の環境活動に準じ対応商品を提案	継続実施
		B　顧客への提案		○	・営業、業務を通して行っている	継続実施

＜備考＞

評価判定　　○（よくできた）　△（まあまあできた）　×（できなかった）　－（実施が見送られた）

Ⅷ当社の取組

● 弊社の敷地の一部を地域のごみ収集のために提供しています。
ボックスには資源ごみ収集時に使用するコンテナと、ブルーシートを収納しています。

● 分別はこのようにしています。

ビン・缶　ペットボトル　ビニールごみ　燃やすごみ

雑紙　白上質紙

雑紙　白上質紙

Ⅸ 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

当社に該当する環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

1)当社に該当する主な環境関連法規リスト（評価日: 2025年 5月30日 評価者: 環境管理責任者）

関連法規の名称	2025 年度	実施状況	遵守状況	
消防法	(2025年 3月1日～2025年5月31日)	消防本部の立入検査	年一回	遵守
労働安全衛生法	SDS入手と配布	需要先への通知	随時	遵守
化審法	〃	〃	随時	遵守
化管法	〃	〃	随時	遵守
有機溶剤中毒予防規制	使用条件の周知	イエローカードを常備	入出荷時	遵守
毒物及び劇物取締法	使用上の届出、表示 保管場所の管理	隔離管理の実施	常時	遵守
		需要先への周知	随時	遵守
		保健所の立入検査	随時	遵守
揮発油税法	税務署への届出･報告	規定通りの処理	毎月	遵守
浄化槽法第10条	保守点検、清掃	業者による点検 〔(株)太洋社〕	3ヶ月毎	遵守
浄化槽法第11条	水質検査	静岡県環生第1号 ㈶静岡県生活科学検査センター	毎年	遵守
沼津市廃棄物処理に関する条例	事業系一般廃棄物の排出	沼津市条例の遵守と適正分別排出	随時	遵守
環境基本法	一般的な自主努力	一般的な自主努力	随時	遵守
循環型社会形成推進基本法	リサイクルの推進	分別、適正処理	随時	遵守
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス制御	自治体施策へ協力	随時	遵守
リーチ規制	SDSの入手と配布	需要先への通知	随時	遵守
RoHS指令	SDSの入手と配布	需要先への通知	随時	遵守
グリーン購入法	環境物品の購入	購入物品等のグリーン購入	随時	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	冷却温度･機械異常音等	3ヶ月毎	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理･施策協力	廃棄物の分別	随時	遵守
イエローカード証明書	運搬業者に配布	運搬業者は携帯	随時	遵守

※今回の中間審査後、2025年4月6日下水道接続工事完了

2)法規への違反、訴訟等の有無

関連法規制の遵守状況の評価の結果、違反はありません。

また、地域周辺及び関係機関等からの訴訟及び苦情等もありません。

X緊急事態への対応

1） 緊急事態発生時対策

①地震	津波の発生、建物倒壊、地盤の液状化等による避難
②火災	消火器の使い方指導
	沼津市消防署へ通報
③車輌事故	会社に連絡、社長の指示を仰ぐ

2）緊急事態発生の想定訓練・結果

2024年8月14日実施

想定結果	南海トラフ巨大地震が発生し、震度6弱を観測。大津波が襲来した。
対応策	①社屋内の社員全員に避難を呼びかける。 ②てんでんこに屋上へ向かう。 ③全員の安否確認
定期的訓練日	毎年8月第2水曜日頃に行うものとする。（変更有）
訓練結果	訓練日は2024年8月14日に業務・総務で実施。 上記対応策は効果的であると判断したので、次回もこの対応策で実施する。

3）盗難

発見者は代表者に報告。関係省庁に連絡する。

関係省庁	電話番号
沼津警察署	055－952－0110
沼津市消防本部予防課	055－920－9101
静岡県東部保健所薬事環境課	055－920－2107
静岡県東部保険所産業廃棄物課	055－920－2100
静岡県産業廃棄物協会	055－924－7375

XI 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日　2024年5月20日

1・見直し関連情報		項目	確認	（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	☑	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☑	目標達成は一部に限られました。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☑	継続して取り組みます。
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☑	記録に記載しました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☑	特に問題ありませんでした。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☑	更新の3か月短期運用期間より電力は削減することができた。
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部同行	☑	継続して取り組みます。
	8	その他（	□	

2・代表者による全体評価・見直し指示		評価者	2025年5月20日	代表取締役社長 ： 芹澤 俊夫
	前回の更新審査のレポートは、子会社の資生化学通商㈱を吸収合併後最初の試行、運用期間として、2023年のデータを基に、2024年3月～5月の3か月間で環境活動を実施したものでした。 今回の中間審査はその3か月を含めた1年分（2024年3月～2025年2月）のデータで申請しました。 残念ですが、今回もガソリンの使用量が多く、目標の二酸化炭素排出量の削減には至りませんでした。電力の使用については少しではありますが、改善が進んだように判断しています。これからもさらなる改善を目指して活動を続けていきます。			
		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有 (無)	特になし
	2	環境経営目標	有 (無)	特になし
	3	環境経営計画	有 (無)	特になし
	4	実施体制	有 (無)	特になし
	5	その他のシステム要素	有 (無)	特になし
	6	その他（外部への対応）	有 (無)	特になし